

しせききかわしじょうかんあと
史跡吉川氏城館跡

吉川元春館跡

(広島県山県郡北広島町海応寺)

吉川元春館跡は、吉川元春が1583年に隠居所として建設を始めた館跡です。1591年に当主であった三男の広家が出雲へ移転したことによって館としての機能を失い、1600年に吉川氏が岩国へ移封された跡は完全に廃墟になりました。



みつかった
便所跡



館の奥にある吉川元春と
元長の墓所



みつかった井戸



石切場



1590年頃の館 (復元模型)



石垣

見つかった陶磁器や漆器

発掘調査によって
建物跡や庭園跡など
が見つかったほか、
当時の生活や技術が
わかる多くの遺物が
出土しています。



小犬の土人形
(安産のお守り)



元春の妻に宛てた荷物の札
あき
よしはらおつほねまる



三尊石

滝石組

築地塀の基礎

平屋

池

池の背後に滝石組と三尊石を配した庭園です。本来は会所とよばれる建物があり、そこから鑑賞していたものです。東側にはこの庭園の一部を削って造られ、築地塀で区画された趣の異なる平庭もあります。(国名勝)



ふぞく
附属屋

台所



かまど



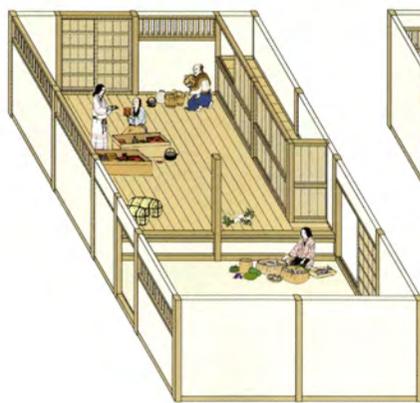
土間と板間



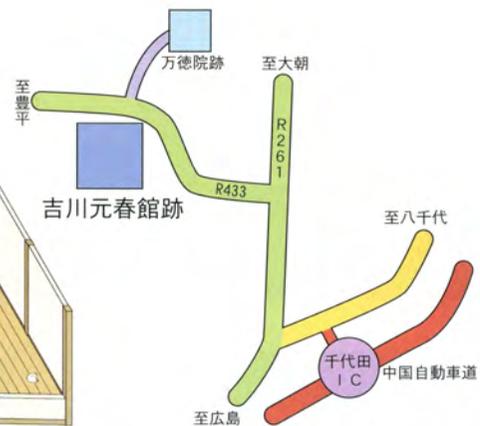
いろり・流し



附属屋の板間と戸棚



台所の様子



発掘調査で見つかった場所に、当時の台所を復元しました。柱やかまどなども当時と同じ位置で、窓や屋根も館跡から出土したものを元に再現しています。きっとこのイラストのような光景が繰り広げられたのでしょう。

＜お問い合わせ＞

北広島町教育委員会 生涯学習課文化係

TEL 0826-72-2111

IP 050-5812-2111

吉川元春館跡資料館 戦国の庭 歴史館

TEL 0826-83-1785

IP 050-5812-1785